

子どものお薬Q & A

お子さんに薬を飲ませることは大変なことです。
今回は薬局への電話等での問い合わせで多い質問をのせてみました。



1. お兄ちゃんの風邪薬があります。量を少なくして弟に飲ませてもいいですか？

医師から出た薬は医師の許可なく本人以外に服用させてはいけません。
同じ症状であっても別の病気かもしれません。年齢や体重によって服用する量が決まっています。



2. お薬を飲ませるのを忘れました。どうしたらいいですか？

思い出した時点ですぐ飲ませてください。次のタイミングが迫っているときは、
飲み忘れ分は飲ませずに次の分から飲ませてください。



3. 保育園に通園しています。

1日3回朝・昼・夕に飲ませる薬ですが昼の分はどうしたらいいですか？

昼の分を帰宅後すぐに飲ませ、夜の分を寝る前に飲ませてください。
4時間以上あいていれば大丈夫です。



4. 子供が間違えて軟膏をなめてしまいました。

また、軟膏が目に入ってしまった。大丈夫でしょうか？

薬局で扱っている軟膏やクリームの多くは子供が誤飲しても大きな問題はありません。
したがって軟膏を塗ったところをなめても特に問題ありません。
ただし、目に入ったら水で洗い流して様子を見ます。(決して目をこすらないようにしてください)

いずれの場合も症状がなければ経過観察で、もし症状がでましたら直ちに
医療機関を受診してください。



これらの質問は代表的なものです。特別なケースもありますので、お薬の事で困っていることや分からないことがあれば薬剤師にご相談してください。

平成30年4月より



毎週土曜日小児科を担当する代診の先生のご紹介です。

第1・3・5土曜日 飯田先生

(東京女子医科大学病院より)

以前は神奈川県の小児病院に勤めておりましたが、本年度より東京女子医科大学病院に異動になり、当クリニックで働かせていただくことになりました。丁寧な診察を心掛けます。よろしくお願いいたします。

第2・4土曜日 長澤先生

(東京女子医科大学病院より)

お子様の健やかな成長の手助けを少しでも出来ればと思い、診療を行っています。体調不良の際に限らず、日常の疑問点などありましたら教えてください。よろしくお願いいたします。



【 おおきくなるっていうことは 】



入園、入学、進級と新しい環境にお子様、ママ達も少しずつ慣れてきたのではないのでしょうか？

服が小さくなったり、自分より小さな人に優しくなれたり、お子様の体と心が大きく成長した喜びを一緒に感じながら読んでほしい一冊です。

「おおきくなるっていうことは」素晴らしいことですね。

著 中川 ひろたか
絵 村上 康成



今号のスタッフ一言日記



春になり、晴天に恵まれ外出するのが楽しくなりますね。子どもとお出かけスポットは、伊勢崎市にある華蔵寺公園（カブトムシのオブジェ、カマキリの滑り台）遊園地もあり、とても楽しいです。杉戸から1時間くらいで行けるので、是非お出かけしてみたいかがでしょうか♪

看護師 森山 幸